

一般質問発言通告書（２日目）

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	翁長俊英 (公明党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 健康行政について	健康なは 21 の改定について (1) 事業の評価と課題について伺う (2) 策定計画とスケジュールについて伺う (3) 那覇市の肥満率の現状について伺う (4) 長寿県沖縄のブランドが大きく後退している。その要因と対策について伺う
		2 特定健診の健診率アップ事業について	(1) 現状と取り組み、課題について伺う (2) イベント会場における特定健診の実施の可能性について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 26 年 6 月 11 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	下 地 敏 男 (社 民 党)	1 平和行政について	沖縄戦で戦争孤児となり身元不明のまま今日にいたっている方々を救済し、その身元捜しと人権回復は行政の責任である。第一義的責任は国にあるが、自治体も平和行政の一環として進めていかなければならない。本市においても第4次総合計画に平和都市の実現と発信の取り組みを進める施策や戦争の歴史をみんなが伝えることができる施策があり、その実現に向けて一層の努力が求められている。本市の戦争孤児の実態について問う
		2 教育行政について	自然環境学習等について 緑地や河川を良好に保つことは、海の自然環境保全や生き物が集まる貴重なサンゴ礁を守り、現在から将来の世代に残すかけがえのない財産である。ところが、県内では赤土等の流出で海が汚されている深刻な状況がある。本市の土壌分布に赤土を見ることはないが、赤土等流出の悪影響については全県的な問題として取り組む必要がある中で、本市はどのように取り組まれているか、以下質問する (1) 本市小中学校で、深刻な県内の赤土等流出の学習機会はどのようにになっているか (2) 小学校高学年を対象に具体的に取り組みを進めたらどうか
		3 那覇市健康ウォーキング大会について	本年度の施政方針で示された健康・長寿おきなわを取り戻すため、「(仮称) 那覇市健康ウォーキング大会」が10月19日開催される。5月9日には、那覇市健康ウォーキング推進事業実行委員会の設立総会が行われ、翁長市長を実行委員会会長に第1回総会が開催された 実行委員会の取り組みについて以下伺う (1) 同大会のスローガン並びに正式名称は決定したか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 安全衛生対策について	(2) 職員・社員等健康推進部会の内容について (3) 6 専門部会の中の、あっちゃ一部会の業務の、コース案内板設置とは何か 本市職員の健康を保持し、個々の能力を活かし、公共サービスの充実を図るために本市の安全衛生委員会の果たす役割は重要である。以下、質問する (1) 過重労働等職場環境に起因するメンタル疾患防止対策について (2) 安全衛生委員会の現状について 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（2日目） 平成26年6月11日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	山 川 典 二 (自民・無所属・改革の会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 NAHAマラソンについて 2 経済行政について	NAHAマラソンについて伺う (1) この3年間の応募者数、参加者数（県内、県外、海外、男女別）と参加料 (2) ボランティアを含め大会関係者の総人数 (3) 経済波及効果総額 (4) 本市の予算額と事業内容 (5) NAHAマラソンの収支内容 (6) 過去29回の総括と今年12月7日開催の第30回記念大会への取り組み (7) 東京マラソンで採用され好評の「チャリティーランナー」や「チャリティーサポートシステム」導入を提案する。又、マラソンコース沿道のイベントやスポーツ関連を中心とするEXPO(博覧会)も実施されているが、検討の価値があると思う。当局の見解を問う 本市在住の企業・法人（個人事業者も含む）の実態について伺う (1) 本市に本店（支店）・事業所の登記を行ない事業活動する企業・法人数（個人事業者も含む）と総売上額及び法人税・事業税・法人市民税の各税収総額（過去3年分） (2) 本市の企業・法人（個人事業者も含む）の業種等構造の特徴と評価について伺う (3) 本市の企業・法人（個人事業者も含む）に対する当局の支援事業と内容 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（2日目） 平成26年6月11日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 快 佐 (社 大 党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 観光客の動向及び観光産業の労働環境について 2 児童福祉行政について 3 障がい福祉行政について	(1) 本市の観光客数及び一人当たりの消費単価の推移と特徴について伺う (2) 本市の観光産業従事者の人数及び労働環境について (1) 市内の児童養護施設・里親家庭・ファミリーホームの児童数の推移について伺う (2) 上記の児童が自立するうえで本市が行っている支援事業について伺う (1) 本市の就労移行支援事業所の設置数及び利用者の推移について伺う (2) 本市で就労支援を利用するまでの期間について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 26 年 6 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 御茶屋御殿 の復元につ いて	御茶屋御殿の復元を目指す取り組みについて 以下伺う (1) 昨年、再始動した国、県、那覇市による御 茶屋御殿ワーキング・グループの開催状況と 協議内容について (2) 御茶屋御殿は、世界遺産を見据えた上で現 況のままでも「国の文化財登録」をすること が、復元事業への確かな一歩になると考える が、当局の見解を伺う
		2 子育て支援 について	子育て支援の一環として、今国会で改正児童扶 養手当法が成立したが、本市の状況について以下 伺う (1) 児童扶養手当を受給している世帯数、ひと り親世帯で年金受給によって児童扶養手当 を受給できていない世帯数（母子家庭、父子 家庭、その他） (2) 法改正によって児童扶養手当の支給がど のように変わるか
		3 支所・出張 所の新設につ いて	市民サービスの向上を求めて新都心地域に支 所、もしくは出張所の設置を願う声があるが、当 局の見解を伺う
		4 大型バスの 待機スペース について	観光都市の移動手段として大型バスは重要な 役割を担っているが、一時待機の場所で問題が生 じている実態を当局はどのように認識している か伺う
		5 桜の名所づ くり事業につ いて	桜の名所づくり事業として選定した場所とそ れぞれの状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 26 年 6 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	比 嘉 瑞 己 (日本共産 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子育て世帯 への就労支援 について 2 多様化する 保育ニーズへ の公的支援に ついて	沖縄県の県民所得は低く、離婚率、完全失業率、非正規雇用率は全国一高い。さらに待機児童は人口当たりで全国一多く、子育て環境は大変厳しい。子育て世帯が働きがいをもって就労し、地域で安心して子育てができるように、行政の積極的役割が求められている (1) 公立・認可保育園待機児童における保護者の就労状況を問う (2) 公立・認可保育園入園を利用している保護者が、就労状況等の変化などで、途中退園となった児童数を問う (3) ひとり親世帯のための就労支援についての実績を問う (4) 子育て世帯に、保育や就労などを総合的・包括的に支援するワンストップ相談窓口事業を実施すべきである。見解を問う (1) インターネットでベビーシッターに預けた男児が遺体で発見された事件は、社会に大きな衝撃を広げている。子育ての相互援助活動を行う「那覇市ファミリー・サポートセンター」の役割は重要であり、事業を拡充すべきである。見解を問う (2) 夜間や宿泊を伴う保育ニーズに、認可外保育園が大きな役割を果たしてきた。認可外保育園への支援を拡充すると共に、公立・認可保育園の夜間保育を増やすべきである。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 地域と学校の連携強化について	近年、地域の子育て環境は大きく変化している。地域と学校の連携を強化し、地域社会全体で課題解決に取り組むことが求められている。学校や地域の抱える課題と、連携の可能性について、教育委員会と市長部局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（2日目） 平成26年6月11日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	仲松寛 (自由民主党 新風会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 健康行政について 2 母子保健行政について 3 歯科保健予防について	「健康なは21」（健康推進計画）について 「健康」とは、ひとが人生を歩む上において、また健全な社会を築く上において人類永遠の課題である。このため、本市は、市民一人ひとりがいきいきと充実した人生を実現し、活力ある那覇市を築き発展する上で、極めて重要な課題として、平成17年度より「健康なは21」を策定し市民をはじめ、関係機関や団体等とともに、健康づくりを推進してきた。ついては、次の事項について伺う (1) 「健康なは21」の取り組み内容とその成果について伺う (2) 第二次「健康なは21」は前期の計画とどのような違いがあるのか伺う (3) 第二次「健康なは21」の策定スケジュールについて伺う 母子保健計画「健やか親子なは」について 各自治体の深刻な課題として「少子高齢化」「核家族化」の急速な進展がある。特に、子育てを取り巻く環境の変化は著しく、安心して親子が暮らせる環境づくりは行政の責務である。ついては、次の事項について伺う (1) 母子保健の現状と課題について伺う (2) 母子保健計画をどのように総括しているか伺う (3) 新たな母子保健計画と、これまでの計画との相違及びスケジュールについて伺う 「歯科保健予防対策」について 歯は、人の健康のバロメーターとして80歳まで20本の歯を残す8020（ハチマルニイマル）運動等、歯を大切にする取り組みが進められている。また、沖縄の長寿を取り戻す健康づくりの一

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			環として、歯科保健予防対策事業が位置づけられている。ついては、次の事項について伺う (1) 「歯科保健予防対策モデル事業」導入の背景及び概要について伺う (2) 妊婦歯科検診の取り組みと、その効果について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（2日目） 平成26年6月11日(水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	花城正樹 (なは民主)	1 選挙行政について	今年11月、知事選や県議補選が予定されている。また、同時に市長選も濃厚となってきた。以下、伺う (1) 昨年の参院選、那覇市議選において商業施設での期日前投票が実施され、成果があった。今後のエリア拡大について (2) 投票率向上は見込めるか
		2 ユーフルヤーについて	『日本の風呂文化がローマ帝国を救う!』 現在、国内外から日本の風呂文化が注目され話題となっている。以下、伺う (1) 市内のユーフルヤーの数 (2) 入湯税の推移(3年間) (3) 本市における業者への補助金の割合、使途等について
		3 第40回那覇ハーリーについて	(1) 今大会から参加費を徴収しているが、決定プロセスを伺う (2) 参加チーム(中学校の部以外)の推移について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員会委員長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（2日目） 平成26年6月11日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 介護保険について 2 学校施設の安全確保について 3 健康で長寿のまちづくりについて	(1) 要支援1・2の高齢者のサービスをどのように確保するのか、見解を問う (2) 特養の待機者は何人か。増設を6次なは高齢者プランに入れるべき。見解を問う 学校施設の耐震化の現状と計画について、見解を問う (1) 「健康なは21」「第5次なは高齢者プラン」が2014年度で終了。10年20年30年後を見据えて、「健康で長生き」を取り戻すために、今、何が必要か。全市的、全庁的な議論が必要。見解を問う (2) 那覇市食育推進計画の積極的推進。とりわけ、食生活改善推進に関わるスタッフの充実。食生活改善推進員とは別に、那覇市独自の制度として、食生活改善ボランティア（仮称）を設立すべき。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)